

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成 20 年 2 月 14 日

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社
 コード番号 3390
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 浩行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 青木 博之

上場取引所 J Q
 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>

TEL (03)3568-1305

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,658	△14.7	△457	—	△462	—	△467	—
19年3月期第3四半期	1,943	△22.7	△218	—	△227	—	△135	—
19年3月期	2,512	—	△316	—	△327	—	△363	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△7,966	08	—	—
19年3月期第3四半期	△2,312	51	—	—
19年3月期	△6,186	93	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	1,760		818		46.5	13,938	90	
19年3月期第3四半期	2,257		1,514		67.1	25,779	38	
19年3月期	1,989		1,286		64.7	21,904	97	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	△78		△143		△6		409	
19年3月期第3四半期	130		△220		△84		718	
19年3月期	138		△267		△125		638	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	—	—	—	—	0 00
20年3月期	—	—	—	—	0 00
20年3月期(予想)	—	—	—	—	

3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	2,297 △8.5	△443 —	△451 —	△457 —	△7,795 86

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年11月22日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成20年2月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計年度におけるわが国経済は金利上昇不安や原油価格・素材価格の高騰といった懸念材料はあったものの、企業部門の底堅さが持続し活発な設備投資や雇用・所得環境の改善による個人消費も上向きつつあるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし「改正建築基準法」施行の影響により住宅建設が減少していること等から、回復の足取りはさらに緩やかになりました。物価の動向をみると、消費者物価指数は、石油製品等の上昇により上昇すると見込まれました。こうした結果、内閣府の経済見通し（平成20年1月18日付け）によると平成19年度の国内総生産の実質成長率は1.3%程度（名目成長率は0.8%程度）になるとの見込みです。

一方、サブプライムローン問題を背景とする米国経済の下振れや金融資本市場の変動、原油価格の高騰等がわが国経済に与える影響は大なるものでありました。

このような状況下、当事業年度中間期までのマイナス基調から脱却すべく主力のソリューションアウトソーシング事業の新規顧客獲得、新事業分野である介護ソリューション事業の拡大、セキュリティ関連事業の基盤構築、既存のeコマース事業の新商材・新サービスの投入による売上拡大に努力してまいりました。その結果、第1四半期、第2四半期、第3四半期と売上は伸張してまいりましたが、その増加は微増にとどまり昨年度の実績に及びませんでした。

基幹事業のソリューションアウトソーシング事業においては、日本IBMとのタイアップのもと新世代POS「APOS」を発表するなど、新施策による顧客開拓に尽力して参りましたが、売上獲得は計画通りに進捗いたしませんでした。

新規事業分野である介護ソリューション事業は業界でも類を見ない新たなソリューションを提供しておりますが、販売体制の構築が遅れており当初予想の売上を達成するにいたりませんでした。しかしながら着実に業界の理解を獲得しており、その顧客数は急速に増加しております。

また、セキュリティ関連事業に関しましては、セグメント別ニーズの発掘活動を通じて当社セキュリティソリューションの有効活用につながる複数の案件が発生しておりますが、現時点では大きく売上貢献する水準には至っておりません。しかしながら、医療・介護ソリューションサービスにおけるデータ保管の基本アーキテクチャーとしてその技術を採用しております。

eコマース事業に関しましては、外食を中心とした既存顧客の出店ペースの鈍化によって売上、利益ともに前期を下回る実績となっておりますが、今後の事業の拡大をにらみ外食以外の業界を対象とした新商材・新サービスの提供を開始いたしております。

以上の結果、当第3四半期までの売上高は1,658,680千円（前年同期比14.7%減）となり、売上総利益は115,758千円（前年同期比68.1%減）、経常利益△462,690千円（前年同期235,275千円減）、四半期純利益△467,879千円（前年同期332,056千円減）となりました。

ASPソフトウェアライセンスの販売については売上計上時期ならびに方法を検討中であり、少なくとも今期終了までに結論を発表させていただく予定であります。

事業部門の売上高につきましては、ASP事業は822,927千円、eコマース事業は835,753千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

(流動資産)

当第3四半期末における流動資産は、前事業年度末と比べ214,687千円減少し、822,395千円となりました。その主な要因は、現預金の減少228,562千円、前払費用の減少31,563千円および売掛金の増加54,153千円であります。

(固定資産)

当第3四半期末における固定資産は、前事業年度末と比べ12,964千円減少し、937,220千円となりました。その主な要因は、システムの増強によるソフトウェアの増加15,279千円、のれんの償却による減少18,000千円および長期前払費用の減少5,780千円によるものです。

(流動負債)

当第3四半期末における流動負債は、前事業年度末と比べ458,452千円増加し、882,126千円となりました。その主な要因は、償還期限が1年以内になった社債の増加200,000千円、前受金の増加152,869千円、短期借入金の増加94,000千円、買掛金の増加53,000千円、未払金の減少30,533千円、および賞与引当金の減少13,504千円によるものです。

(固定負債)

当第3四半期末における固定負債は、前事業年度末と比べ219,945千円減少し、59,736千円となりました。その主な要因は、償還期限が1年を超える社債の減少200,000千円、長期未払金の減少11,334千円および長期借入金の減少8,168千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期末における純資産は、前事業年度末と比べ467,879千円減少し、818,687千円となりました。その主な要因は、損失計上による利益剰余金の減少467,879千円によるものです。

(2) キャッシュ・フロー

当第3四半期におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により78,596千円使用、投資活動により143,824千円使用、財務活動により6,140千円使用し、その結果使用した資金は228,562千円となり、当第3四半期末残高は409,839千円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果使用した資金は、78,596千円となりました。これは主に税引前四半期純損失の計上465,320千円、減価償却費の計上144,771千円及び前受金の増加152,869千円などによるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動に使用した資金は、143,824千円となりました。これは主にソフトウェアの取得による支出94,681千円及びソフトウェアの製作による支出46,863千円などによるものです。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果支出した資金は、6,140千円となりました。これは主に短期借入金の借り入れによる収入100,000千円、未払金の返済による支出89,682千円及び長期借入金の返済による支出10,458千円などによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績に関しまして、1. 経営成績に関する定性的情報に記載の理由により平成19年11月22日付の「平成20年3月期 中間決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を修正いたします。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

当期より法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を 5 年で均等償却しております。

なお、これらの変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第3四半期末	〔平成20年3月期〕 第3四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月 期末) 金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	718,214	409,839	△308,375	△42.9	638,401
2 売掛金	328,253	344,194	15,940	4.9	290,040
3 たな卸資産	10,131	10,053	△78	△0.8	10,066
4 前払費用	116,492	59,290	△57,201	△49.1	90,854
5 繰延税金資産	114,967	—	△114,967	—	—
6 未収入金	21,283	23,912	2,629	12.4	—
7 その他	15,711	8,365	△7,346	△46.8	35,932
8 貸倒引当金	△31,345	△33,260	△1,914	6.1	△28,212
流動資産合計	1,293,708	822,395	△471,313	△36.4	1,037,083
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	27,071	23,249	△3,822	△14.1	26,020
(2) 構築物	101	85	△16	△16.1	97
(3) 工具器具備品	16,021	12,694	△3,327	△20.8	15,129
(4) 建設仮勘定	—	851	851	—	—
有形固定資産合計	43,195	36,880	△6,314	△14.6	41,247
2 無形固定資産					
(1) のれん	30,000	6,000	△24,000	△80.0	24,000
(2) ソフトウェア	487,110	511,023	23,913	4.9	495,744
(3) ソフトウェア仮勘定	1,976	—	△1,976	—	—
(4) 電話加入権	1,624	1,624	—	—	1,624
(5) その他	118	94	△24	△20.7	112
無形固定資産合計	520,830	518,742	△2,087	△0.4	521,481
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	250,785	250,785	—	—	250,785
(2) 従業員長期貸付金	422	422	—	—	422
(3) 長期前払費用	47,910	37,173	△10,736	△22.4	42,954
(4) 繰延税金資産	2,472	—	△2,472	—	—
(5) 敷金・保証金	93,469	93,215	△254	△0.3	93,293
投資その他の資産合計	395,060	381,597	△13,463	△3.4	387,456
固定資産合計	959,086	937,220	△21,865	△2.3	950,185
III 繰延資産					
1 新株発行費	3,572	933	△2,639	△73.9	2,654
2 社債発行費	766	—	△766	—	—
繰延資産合計	4,339	933	△3,406	△78.5	2,654
資産合計	2,257,134	1,760,550	△496,584	△22.0	1,989,922

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期 第3四半期末〕	〔平成20年3月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	(平成19年3月 期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	217,089	230,836	13,746	6.3	177,835
2 短期借入金	—	94,000	94,000	—	—
3 一年内返済予定長期借入金	23,944	11,654	△12,290	△51.3	13,944
4 一年内償還予定社債	—	200,000	200,000	—	—
5 未払金	188,645	163,572	△25,072	△13.3	194,106
6 未払費用	9,442	11,472	2,029	21.5	8,645
7 未払法人税等	1,673	2,677	1,003	60.0	3,384
8 前受金	—	152,869	152,869	—	—
9 預り金	5,882	7,844	1,962	33.4	5,054
10 賞与引当金	5,504	7,199	1,694	30.8	20,703
流動負債合計	452,181	882,126	429,944	95.1	423,673
II 固定負債					
1 社債	200,000	—	△200,000	—	200,000
2 長期借入金	11,654	—	△11,654	—	8,168
3 退職給付引当金	6,073	6,104	30	0.5	6,537
4 長期未払金	73,098	53,632	△19,465	△26.6	64,977
固定負債合計	290,826	59,736	△231,089	△79.5	279,682
負債合計	743,008	941,862	198,854	26.8	703,355
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	915,900	915,900	—	—	915,900
2 資本剰余金	522,950	522,950	—	—	522,950
3 利益剰余金	75,276	△620,162	△695,439	△923.8	△152,283
株主資本合計	1,514,126	818,687	△695,439	△45.9	1,286,566
純資産合計	1,514,126	818,687	△695,439	△45.9	1,286,566
負債、純資産合計	2,257,134	1,760,550	△496,584	△22.0	1,989,922

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	(平成19年3月期 第3四半期)	(平成20年3月期 第3四半期)	金 額	増減率	(平成19年3 月期) 金 額
I 売上高	1,943,931	1,658,680	△285,250	△14.7	2,512,169
II 売上原価	1,581,590	1,542,922	△38,668	△2.4	2,049,360
売上総利益	362,341	115,758	△246,582	△68.1	462,808
III 販売費及び一般管理費	580,442	572,922	△7,519	△1.3	778,917
営業損失	218,100	457,164	239,063	—	316,109
IV 営業外収益	139	1,599	1,460	1,045.1	1,049
V 営業外費用	9,454	7,126	△2,327	△24.6	12,796
経常損失	227,415	462,690	235,275	—	327,856
VI 特別利益	11,835	—	△11,835	—	4,229
VII 特別損失	867	2,629	1,761	203.0	2,044
税引前四半期(当期)純損失	216,447	465,320	248,872	—	325,671
税金費用	△80,623	2,559	83,183	—	37,711
四半期(当期)純損失	135,823	467,879	332,056	—	363,383

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成18年3月31日 残高	915,900	522,950	211,099	1,649,949	1,649,949
第3四半期会計期間中の変動額					
第3四半期純損失	—	—	△135,823	△135,823	△135,823
第3四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	△135,823	△135,823	△135,823
平成18年12月31日 残高	915,900	522,950	75,276	1,514,126	1,514,126

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566
第3四半期会計期間中の変動額					
第3四半期純損失	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
第3四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
平成19年12月31日 残高	915,900	522,950	△620,162	818,687	818,687

前期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成18年3月31日 残高	915,900	522,950	211,099	1,649,949	1,649,949
事業年度中の変動額					
当期純損失	—	—	△363,383	△363,383	△363,383
事業年度中の変動額合計	—	—	△363,383	△363,383	△363,383
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純損失(△)	△216,447	△465,320	△325,671
減価償却費	120,581	144,771	165,615
新株発行費償却	2,722	1,720	3,641
社債発行費償却	2,299	—	3,066
リース解約損	784	2,629	1,960
固定資産除却損	83	—	83
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△11,835	5,048	△14,969
賞与引当金の増加額(△減少額)	△15,733	△13,504	△534
退職給付引当金の増加額(△減少額)	△900	△433	△437
受取利息及び受取配当金	△82	△546	△475
支払利息	4,431	5,406	6,088
売上債権の減少額(△増加額)	382,338	△54,153	420,550
たな卸資産の減少額(△増加額)	△10,131	12	△10,066
前払費用の減少額(△増加額)	—	95,338	—
仕入債務の増加額(△減少額)	△135,996	53,000	△175,250
未払金の増加額(△減少額)	214,281	△6,826	156,611
前受金の増加額(△減少額)	—	152,869	—
その他の資産の減少額(△増加額)	△103,767	6,552	13,327
その他の負債の増加額(△減少額)	△30,282	4,819	△30,872
小 計	202,346	△68,614	212,669
利息及び配当金の受取額	82	546	475
利息の支払額	△5,169	△6,157	△6,091
リース解約による支出	△784	△2,629	△1,549
法人税等の支払額	△65,839	△1,742	△66,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,635	△78,596	138,730

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△19,123	△2,357	△19,358
ソフトウェアの取得による支出	△162,904	△94,681	△198,731
ソフトウェアの製作による支出	△38,850	△46,863	△50,280
貸付金の回収による収入	74	—	74
敷金・保証金の減少額(△増加額)	397	78	573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,406	△143,824	△267,722
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の借入による収入	—	100,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△6,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,458	△10,458	△53,944
未払金の返済による支出	△39,722	△89,682	△66,828
株式の発行による支出	△4,177	—	△4,177
上場関連の支出	△258	—	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,616	△6,140	△125,208
IV 現金及び現金同等物の増加額	△174,388	△228,562	△254,201
V 現金及び現金同等物の期首残高	892,602	638,401	892,602
VI 現金及び現金同等物の期末残高	718,214	409,839	638,401

(5) セグメント情報

販売の状況

販売実績

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日		当四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日		(参考) 平成19年3月期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
A S P 事業	955,813	49.2	822,927	49.6	1,265,475	50.4
e コマース事業	988,118	50.8	835,753	50.4	1,246,693	49.6
合 計	1,943,931	100.0	1,658,680	100.0	2,512,169	100.0

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。